「家庭学習ガイド」は，将来，子どもたちが社会人として自立するために欠かすことのできない「生きる力」のひとつである「読むこと」「書くこと」「計算すること」などをはじめとする「確かな学力」を育む一環として配布しています。

ここ数年，家庭学習の重要性が強く叫ばれております。それは，宿題などのように与えられた課題に取り組むだけでなく，自分で決めた学習内容を自分で見直（採点）し，新たな課題をもって学習を進める力が求められているからです。ある調査では，こういった家庭学習に根気強く取り組む子どもほど成績が向上するといった調査結果も出ております。

「家庭学習ガイド」は家庭学習の内容の一例にすぎませんが，これまで以上に子どもたちの家庭学習への習慣化と学習意欲の向上を図るものとして活用していただけたらと思っています。お子さんと一読して，家庭学習に取り組む際の参考にしてください。

1　なぜ学習が必要なのでしょう

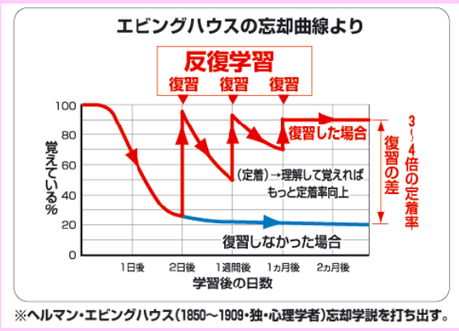
将来の自分について，例えば，就きたい職業などを今から具体的にイメージすることは難しいことです。しかし確かなことは，今努力したことは必ず未来の自分のためになるということです。

国語や算数，社会や理科など，学校では多くの教科等を学習しますが，それらは単なる試験のための道具ではなく，物事を筋道立てて考える力や，物事を多面的に見つめ，豊かに考える力を育んでくれます。また，将来，社会で立派に通用できる人間としてのしっかりとしたコミュニケーション能力なども身につけることができるものと考えています。そして「学習」には，他にもまだまだ多くの可能性が秘められているはずです。

今，私たちの目の前にいる太陽っ子たちは，私たち大人の足跡を単に追随するだけではなく，さらにその上を超えていくはずの子どもたちです。学習の必要性を発達の段階に応じて考えさせながら応援していきましょう。

2　家庭学習を習慣化させましょう

授業の内容を１００％忘れずに記憶できる子はほとんどいません。心理学者エビングハウスの実験から，記憶は１日の間に急激な忘却が起こることが実証されています。一方，ロビンソンの実験からは，学んだ後に復習すると忘却が少ないことが実証されています。だから，学んだことを忘れないために，誰でも最低限の復習が必要になってきます。



※ヘルマン・エビングハウス(1850～1909・独・心理学者)忘却学説を打ち出す。

学習で大事なのは内容です。単純に時間で示すことはできませんが，左の表が一般的な目安となっています。

学　年	時間の目安
１・２年生	３０分程度
３・４年生	４０～５０分
５・６年生	１時間程度

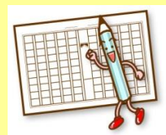
はじめは難しいと思いますが，継続することでリズムが出てきます。それまでお子さんを応援してあげて下さい。お子さんが見たいテレビ番組があるときや習いごとがある場合には，先に済ませてしまうように声をかけたり，お子さん自身に時間の使い方を工夫させたりすると，計画性や判断力がさらに高まります。

３　６年生の家庭学習活動例

家庭学習のポイント 2021年度版

◇毎日，時間を決めて取り組む。
◇机の上や周囲をきれいにし，正しい姿勢で取り組む。
◇テレビはつけない。おやつは食べない。
◇一つの教科にかたよらず，バランスよく取り組む。

教科	活動例
国語	■漢字の練習　・筆順や画数，読み方を教科書や漢字ドリルで調べて書く。 ・熟語などを使った短文を作る。（主語・述語，句読点などに注意） ■言葉の学習　・教科書に出てきた言葉，古典，ことわざや四字熟語を書く。 ・調べた言葉や敬語を使って短文を作る。 ■作文・日記　・ニュースや身の回りの出来事について，事実や意見，感想を区別して書く。 ・季節に合わせた短歌・俳句・詩をつくる。 ■読書　・読み終わった本の紹介や感想を書く。
社会	■教科書の大事な部分を自分の言葉でまとめる。（大事な部分にアンダーラインを引く） ■教科書に書かれている内容からクイズを作り，自分で答える。 ■本やインターネットなどを活用して，詳しく調べたりまとめたりする。 ■歴史上の出来事や人物・政治についてまとめる。
算数	■文章問題５～１０問程度に取り組む。（問題は書き写さない。） ■授業やテストで間違えた問題を解く。 ■発展問題に取り組む。（市販の問題集の活用やインターネットの使用 OK）
理科	■実験でわかった結果や学習したことを，自分の言葉で短くまとめる。 （大事な部分にアンダーラインを引く） ■教科書に書かれている内容からクイズを作り，自分で答える。 ■実験器具の名称や使い方を書く。
外国語	■学習した表現を，大文字や小文字で書き写す。
その他	■自由研究・・・興味をもったことについて調べたり，考えたりしてレポートを書く。

☆学力アップは規則正しい生活から

- ○早寝・早起き・朝ごはん・朝の排便
- ○自分で学習道具をそろえる。
- ○メディアを利用する時間は家族で相談して，長過ぎないようにする。
- ○家の手伝いを毎日続ける。
- ○手洗い・うがい